

2016 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 次の〔A〕・〔B〕の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

〔A〕 貴族文化は、院政期になると地域社会にひろがり、貴族は新たに台頭した武士や庶民にも関心を示しはじめた。武士の合戦を主題とする軍記物語は、すでに10世紀に将門の乱を描いた『将門記』がつくられていたが、院政期には、前九年の合戦の経過を記した『』が書かれている。当時民間で流行していた今様は貴族社会でもてはやされ、後白河法皇によって『』としてまとめられた。インド・中国・日本の説話を集めた『』などの説話集もつくられた。また、このころ物語や説話を題材に、詞書と絵とを交互に書き連ね、物語の場面を展開させていく絵巻物が成立した。

時代の転換のなかで過去の歴史をふりかえろうとする動きも生まれた。藤原道長の一生を肯定的にえがいた『栄花物語』や、摂関政治のようすを紀伝体で記録した『』のような歴史物語がつくられた。これらの歴史物語は従来の官撰の正史とは異なり、仮名を使った和文体で書かれている。

〔B〕 南北朝の動乱は、政治や社会・文化などに大きな転換をもたらした。世の移り変わりのはげしさは、歴史に対する関心をよびおこし、歴史書や軍記物語がつくられた。『』は、戦乱の社会を生きる人びとを生き生きとえがいた軍記物語の代表的作品であり、物語僧によって各地にひろめられた。歴史書では、源平の争乱から後醍醐天皇までの歴史を貴族の立場から回顧した『』や、武家の側にたって足利尊氏の活躍を叙述した『』がある。さらに伊勢神道を背景として南朝の正統性と皇位継承の正しいあり方を説いた歴史書が『神皇正統記』である。また、建武の新政を実現するため、公家の年中行事にも関心が深まり、『職原抄』や『建武年中行事』などの有職故実の書が編纂された。

問(1) 空欄 ～ に当てはまる語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①の「前九年の合戦」において、奥羽の安倍氏を鎮定した武将は誰か、下記の語群のなかから選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- (ア) 源満仲 (イ) 源義朝 (ウ) 源頼義 (エ) 源頼政
(オ) 源頼家

問(3) 下線部②の「絵巻物」に関し、応天門の変を題材にし、貴族や庶民を表情豊かに表現した作品は何か、下記の語群のなかから選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- (ア) 鳥獣戯画 (イ) 源氏物語絵巻 (ウ) 信貴山縁起絵巻
(エ) 年中行事絵巻 (オ) 伴大納言絵巻

問(4) 下線部③の『神皇正統記』の著者は誰か、漢字で解答欄に記入しなさい。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

1651年に [1] は徳川幕府第4代将軍^①となった。幕府の機構は整備され、社会秩序と平和が確立していくなかで、牢人やかぶき者の対策が課題となっていた。同年、由井(比)正雪らによる [2] の変が起こると、幕府は、牢人が発生する原因のひとつであった [3] の禁を緩和した。それまでは、跡継ぎのない大名が、死に臨んで急に相続人を願いでも、幕府はそれをほとんど認めず、領地を没収し、その家を断絶させる処分をすることが多かったためである。また1663年には、殉死の禁止が命ぜられた。^④

1683年に、徳川綱吉の代がわりの武家諸法度^⑤が出され、その第一条が、前代までの「文武 [4] ノ道」から、「文武 [5] を励し、 [6] を正すべき事」に改められた。これは、いわゆる文治主義の考え方を表すものであり、綱吉は、それを裏付ける儒教を重視した。^⑥

また、綱吉の時代には朝廷儀礼が整備され、後の正徳期には時の将軍 [7] と2歳の皇女との婚約がまとめられるなど、天皇家との結びつきも強められた。さらに、この正徳期に、朝鮮からの将軍への国書では、将軍を [8] と称するよう改めさせた。これらは、将軍権威の強化に寄与することとなった。

問(1) 空欄 [1] ~ [8] に当てはまる最も適切な語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。ただし、 [2] は元号で答えること。

問(2) 下線部①の「第4代将軍」を補佐した叔父で、会津藩主であった人物は誰か。

下記の選択肢から1つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 保科正之 (イ) 堀田正俊 (ウ) 徳川光圀 (エ) 柳沢吉保
(オ) 荻原重秀

問(3) 下線部②に関して、中国でも、半世紀近い動乱の後に新しい秩序が生まれた。

17世紀半ばに、前の王朝を完全に滅亡させた王朝はどこか。漢字1文字で解答欄に記入しなさい。

問(4) 下線部③のような処分のことを何というか。最も適切な語句を漢字2文字で解答欄に記入しなさい。

問(5) 下線部④の「殉死の禁止」について、最も適切な説明を下記の選択肢から1つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 主人の死後も、跡継ぎの新しい主人に奉公するため、従者と主人との個人的な関係が強まった。
- (イ) 従者が主人個人ではなく主家に奉公するという主従の関係が明らかにされた。
- (ウ) 下剋上が生じやすい土壌が生まれた。
- (エ) 主従の関係は、主人を変えながら続くものとなったため、不安定なものへと変質していった。
- (オ) 主人の死後、従者は新しい主人に奉公するため、将軍と大名との関係でも、新しい将軍の個人的な能力が一層重視されるようになった。

問(6) 下線部⑤の「武家諸法度」について、最初の元和令が出された時の将軍は誰か。漢字で解答欄に記入しなさい。

問(7) 下線部⑥に関連して、綱吉が最初に大学頭に任じたのは誰か。下記の選択肢から1つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 林鳳岡 (イ) 林羅山 (ウ) 林鶯峰 (エ) 林子平
- (オ) 木下順庵

問(8) 下線部⑦に関連して、この時期に創設された宮家として正しいものを、下記の選択肢から1つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 伏見宮家 (イ) 閑院宮家 (ウ) 桂宮家 (エ) 京極宮家
- (オ) 有栖川宮家

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

明治初期の『明六雑誌』を先駆けとする雑誌に関しては、1880年代後半には徳富蘇峰による① 1 や、三宅雪嶺らが設立した 2 の雑誌である『日本人』などが創刊された。『日本人』は 3 炭鉱の労働者の悲惨な状態を報道して反響を呼んだ。

この時期の文学については、 4 が『浮雲』を言文一致体で書き、坪内逍遙の主張を文学作品として結実させた。さらに、日清戦争前後には、啓蒙主義や合理主義に反発し、感情や個性の躍動を重んじるロマン主義文学がさかんになった。代表的な作家としては、森鷗外や泉鏡花が挙げられる。日露戦争の前後になると、自然主義が文壇の主流になり、 ② 『蒲団』という小説を書いた 5 などが現れた。

絵画では、幕末以来、高橋由一が西洋画で新境地を築いたが、浮世絵や文人画がいぜん主流であった。 ③ 岡倉天心はフェノロサと1887年に 6 を設立して、その後、校長になった。

自然科学の分野では、欧米の近代的科学技術の導入が行われ、明治の終わり頃には、世界的水準に達した研究も発表されるようになった。例えば、 7 は緯度変化のZ項を発見した。

問(1) 空欄 1 ～ 7 に適切な用語を漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①に関して、明六社を組織した洋学者のうち、1890年に帝国大学の総長となった人物の名前として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 西周 (イ) 森有礼 (ウ) 加藤弘之 (エ) 西山茂樹
(オ) 井上哲次郎

問(3) 下線部②に関して、泉鏡花が書いた作品として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 高野聖 (イ) 金色夜叉 (ウ) 草枕 (エ) 五重塔 (オ) 破戒

問(4) 下線部③に関して、高橋由一が描いた作品として、最も適切なものを下記の選
択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 湖畔 (イ) 海の幸 (ウ) 渡頭の夕暮 (エ) 悲母観音
(オ) 鮭

IV 以下の史料を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

〔A〕 五、吾等ノ条件は左ノ如シ。

(中略)

十三、吾等ハ日本国政府カ直ニ全日本国 ノ ヲ宣言シ、且
右行動ニ於ケル同政府ノ誠意ニ付適当且充分ナル保障ヲ提供センコトヲ
同政府ニ対シ要求ス。

〔B〕 帝国政府ハ 攻略後尚ホ支那 ノ反省ニ最後ノ機会ヲ与フル
タメ今日ニ及ヘリ。(中略) 仍テ帝国政府ハ爾後 ヲ対手トセス

出所) 第一次近衛文麿内閣発表の第一次声明

〔C〕 しかるに今回締結せられたる独蘇不可侵条約により、 の天地は
 なる新情勢を生じましたので、我が方はこれに鑑み、従来準備し来つ
た政策はこれを打ち切り、さらに別途の政策樹立を必要とするに至りました。

〔D〕 所謂元老・重臣・ ・財閥・官僚・政党等はこの国体破壊の元兇なり。
倫敦軍縮条約、並に 更迭に於ける統帥権干犯・至尊兵馬大権の僭窃を
図りたる^(a)三月事件、(中略)等は最も著しき事例にして
^(b)

出所) 二・二六事件蹶起趣意書

問(1) ~ の空欄に入る最も適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問(2) 〔A〕~〔D〕を古い順に並べ、前から3番目となる記号を選び、解答欄に記入
しなさい。

問(3) 史料〔A〕の宣言の受諾を日本国政府が連合国側に通告した月日を解答欄に記
入しなさい。また、東京湾内のアメリカ軍艦ミズーリ号上で降伏文書に署名した
月日を解答欄に記入しなさい。

問(4) 史料〔B〕はドイツの駐華大使の和平交渉が難航した後に出された声明である。
このドイツの駐華大使の名前を解答欄に記入しなさい。

問(5) 史料〔C〕の声明を発表した首相が組織して総裁となった国家主義団体を下記の
の選択肢から選び、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 黒龍会 (イ) 玄洋社 (ウ) 猶存社 (エ) 国本社
(オ) 行地社

問(6) 史料〔D〕の下線部(a)に示される更迭された人の名前を下記の選択肢から選び、
解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 渡辺錠太郎 (イ) 真崎甚三郎 (ウ) 永田鉄山 (エ) 林銑十郎
(オ) 土肥原賢二

問(7) 史料〔D〕の下線部(b)に示される事件の首謀者の1人で、戦後A級戦犯に指名
されたが、裁判中に精神障害を理由に釈放された人の名前を下記の選択肢から選
び、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 大川周明 (イ) 橋本欣五郎 (ウ) 石原莞爾 (エ) 荒木貞夫
(オ) 井上日召

